

国際教養学部 教員活動実績

大藪 敏宏

【論文】

「小学校教科書に見る社会科教育法の潮流—系統学習化される単元学習の方向性と課題—」

富山国際大学『国際教養学部紀要』VOL.4 2008年3月

「小学校社会科教育における地域学習の傾向分析と課題—富山県の教育事例分析とNIEによる地域的文化遺産の学習単元の構想—」

富山国際大学『国際教養学部紀要』VOL.4 2008年3月

「初等社会科教育における副読本の事例分析と授業の実際—副教材を使った授業実践例とその成果—」

富山短期大学『富山短期大学紀要』第43巻(2) 2008年3月

「ディルタイ『精神科学序説I』の今日的付置情況—ディルタイからアドルノとジジエクへの「連関」—」

法政哲学会『法政哲学』第4号 2008年6月

彼谷 環

【論文】

「『新憲法大綱案』の特徴と問題点」

富山国際大学『国際教養学部紀要』VOL.4 2008年3月

【学外活動】

(講演)「憲法は何のためにあるのか」(「愛と平和市民塾」2008年2月 小杉ラ・ポール)

「人権から考える——個人情報保護と情報開示」

(社会福祉法人こぶし園での研修会 2008年9月)

「日本女性会議2008とやま」実行委員(2006年～2008年10月)

永井 広克

【論文】

「不登校と家族」 富山国際大学『国際教養学部紀要』VOL.4 2008年3月

【学外活動】

「日本女性会議2008とやま」準備委員(2006～2008年)

「映画で学ぶ社会学」(富山インターネット市民塾)

樋口 康彦

【論文】

「準ひきこもりに関する基礎的研究」

富山国際大学『国際教養学部紀要』VOL.4 2008年3月

【著書】

「崖っぷち高齢独身者」(単著 光文社 2008年6月)

福島 清紀

【翻訳】

「Y. C. ザルカ「寛容、あるいは共存の仕方：新旧の問題点」
富山国際大学『国際教養学部紀要』VOL.4 2008年3月

【書評】

「牧野英二著『崇高の哲学 情感豊かな理性の構築に向けて』を読む」
法政哲学会『法政哲学』第4号 2008年5月

【学外活動】

(講演)「オランダと日本——交流の歴史を概観する」
高岡市生涯学習センター公開講座 2008年1月26日

藤野 豊

【論文】

「ハンセン病 国の加害責任隠した資料館」(『毎日新聞』2008年2月17日)
「旧『南洋群島』のハンセン病政策」(『思想』1012号、2008年8月)
「アジア太平洋戦争とハンセン病」(『季刊 戦争責任研究』61号、2008年9月)
「差別と戦争」(共著 真宗大谷派解放運動推進本部『身同』28号、2008年7月)

【著書】

『ハンセン病 反省なき国家』(単著 かもがわ出版、2008年)
『大同保育隊報告』15年戦争極秘資料集 補巻31(編著 不二出版、2008年)

水田 聖一

【論文】

「韓国の文化と幼児教育の現状」
富山国際大学『国際教養学部紀要』VOL.4 2008年3月

望月 健一

【論文】

「『無秩序の仮面』再考ーピータールー虐殺事件とシェリーの改革のレトリック(2)ー」
富山国際大学『国際教養学部紀要』VOL.4 2008年3月

【学会発表】

「ディラン・トマスの聖書的シンボリズム」(日本英米詩歌学会第21回大会 2008年11月)

【学外活動】

「欧州連合の中のイギリス」(富山国際大学国際教養学部「サテライト市民講座」2008年6月)